

平成 20 年 7 月 16 日
京都市地球温暖化対策室

京都市におけるカーボン・オフセットについて

2030 年までに温室効果ガス排出量 50%削減、2050 年には「カーボン・ゼロ都市」に挑むこととした本市の「環境モデル都市」提案を契機に、京都市内でさまざまな主体により進められている地球温暖化対策の知見や技術・能力を結集させて、市内におけるカーボン・オフセットの普及を図るとともに、クレジットを生み出す活動の開発・促進、そしてクレジット及びオフセットの認証及び管理手法などの制度の検討を今年度から始める予定である。

また、温室効果ガスの排出を価格化し、排出削減を推進するための市民環境ファンド(基金)(仮称)の創設につなげる予定である。

1 事業のフレーム案

(1) 検討するオフセットの種類

特定者間完結型カーボン・オフセット事業

(2) 関係主体案

特定非営利活動法人 KES 環境機構(オフセット認証等)

京のアジェンダ 21 フォーラム(クレジット販売等)

有限責任中間法人 イクレイ日本(オフセット認証支援)

京都市ほか

(3) 京都市の役割

- オフセット口座の管理
- オフセット無効化口座の管理
- オフセット購入代金の管理 など

2 京都市におけるカーボン・オフセットに期待している効果

京都市内には、CO₂ 排出量削減に向けた取組の実績や気運が既にある。

これまでの取組を基礎にして、さらなる削減を図るためには、市民参加の拡大とともに、事業者等の自主的な削減努力と社会貢献につながる継続的な取組を進め、低炭素社会を目指す取組が重要である。そこで、京都市では当面、

炭素の価格化と削減クレジット調達のための資金創出のモデル事例

地域における見える形による信頼性の高いカーボン・オフセット制度の創設

京都市で始まり全国規模に展開している地域版環境マネジメントシステムである KES

の活用による更なる事業者の CO₂ 排出量削減取組の促進

を期待してカーボン・オフセットに取り組むこととしている。

3 当面のスケジュール

本年 8 月から関係者と事業実施スキームについて協議を開始する予定である。